

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和56年9月14日 第23報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	40		
(藍) <i>Aphanocapsa</i> sp.*	40		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	240		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> var. <i>crassa</i> *	200		
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	180		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	1080	○	
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Chlorella</i> sp.	100		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	12160	◎	◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	40		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	180		○
(藍) 藍藻綱	540	3.8	18.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1260	8.8	2.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	0.3	0.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	12480	87.2	78.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	14320	総体積	2.34E+07
種類数	12	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

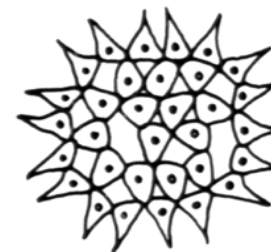
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	12160

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Fragilaria crotonensis</i>	1080

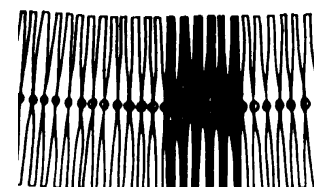
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。